


2019年度 事業実施報告

事業名	近畿水環境交流会 in 宇治川・伏見みなと
日時	令和元年7月27日(土) 28日(日) 10時00分から16時00分
場所	京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリー、伏見みなと広場
参加者数	90名
概要	<p>1日目</p> <p>午前の部：活動紹介 近畿各地における子どもたちの水辺活動発表 午後の部：シンポジウム</p> <p>講演「近年の水害とその防止軽減策」 中川 一 氏（京大防災研宇治川オープンラボラトリー 施設長） 報告「巨椋池干拓地遊水地構想」 澤井 健二 「巨椋池流域模型ビオトープの現状」 今堀 淨 「潮汐力を利用した治水構想」 赤井 一昭 ほか活動紹介</p> <p>2日目</p> <p>午前の部：十石船2隻に乗船〔38名〕 伏見みなと等や関連事項について歴史的な視点から学んだ 午後の部：Eボートレース</p>
実施結果	一般の人たちが、立ち入る機会が少ない巨椋池のビオトープ実験モデルがある京大防災研宇治川オープンラボラトリーで開催されたことで、巨椋池の変遷、かつての環境、機能、社会的な影響などへの関心が向上した。
資料	
ふりかえり	行政からの参加者も多く、水辺をフィールドとした活動への積極的な取り組みが感じとれる行事である。今後も行政や教育機関、市民団体などと連携しながら継続できる取り組みが必要と考える。